

# 有價證券引受業法案特別委員會會議事速記録第三號

昭和十三年三月十一日(金曜日)午前十時  
三十六分開會

○委員長(子爵三室戶敬光君) 是ヨリ前回ニ引續イテ開議致シマス、質問ハ前回ニ於テ大體終ツクノデアリマスガ、何カ尙御質問ノコトガアリマシタラ、此際願ヒマス、如何デアリマスカ、……別ニ御質問モナイヤウデアリマスカラ、然ラバ討論ニ移リタイト思ヒマス

○子爵梅園篤彦君 證券業者、即チ有價證券ノ引受又ハ募集ノ取扱ヲ業ト致ス者ノ起債市場ニ於ケル其ノ地位ノ重要性ニ鑑ミマシテ、本法ニ依リ新タニ監督ノ制度ヲ設ケ、以テ其ノ業務ノ公正ヲ圖リ、起債界ノ健全ナル發達ニ資セムト致スモノデアリマスカラシテ、誠ニ時宜ニ適シタル立法デアルト存ジマス、仍テ私ハ本案ニ賛成ヲ致ス者デアリマス

○野村徳七君 梅園子爵ノ御意見ニ賛成致シマス

○男爵沖貞男君 私モ大體ニ於テ賛意ヲ表スル者デゴザイマス、併シ二三希望ト申シマスカ、申述ベタイト思フコトゴザイマス、過日來ノ審議ノ經過カラ見マシテ、政

府ハ此ノ社債ト云フモノハ十一年度頃カラ段々増大致シマシテ、十一年ガ二十二億七千萬圓、今後モ尙此ノ景氣ガ段々發展シテ參リマス、社債界ト云フモノハ益々勃興ノ機運ニ在ル、サウ云フ際ニ斯ウ云フ法案ヲ制定セラレマシタコトハ、誠ニ結構ナコトト思フノデゴザイマス、而シテ第一條ノ有價證券引受業者ト云フモノヲ見マシタ時ニ、其ノ取扱フ所ノ種類ハ勅令ヲ以テ定メ

ル、斯ウ云フコトデゴザイマスガ、段々々々テ見マス、唯金融證券ノミヲ目的トスルト云フ風ニ伺ヒマシテ、是トテモ只今ゴザイマス所謂取引所ノ現物業者、此ノ方ハ混ツテ居ラヌト云フコトヲ以テ、私ハ大變安心シテ居ルノデゴザイマスガ、第二條ニ於キマシテ免許ト云フコトニナツテ居リマスモノデスカラ、其處ノ所デ、所謂今迄ゴザイマスサウ云フ風ナ業者ニ對シテ、之ヲ免許スルト云フコトニナリマスレバ、一應ソコニ所謂世間デヤカマシイ既得權侵害ト云フヤウナモノモアルデヤナイカ、ソレニ付テ十分御考ヲ願ヒタイト云フ意見ヲ持ツテ居リマス、ソレカラ第三條ノ資本金二百萬圓、二百萬圓ノ株式會社ト云フコトデゴ

ザイマスガ、是ハ政府ノ御方針ト致シマスル所ハ、或ハ此ノ起債會社ノ健全ヲ發達ヲ目的トシテ、之ガ遂行ノ爲ニ法ヲ御作りニナルモノデゴザイマセウカ、一面ニ於テハ現在アルサウ云フ不良ノモノハ消滅サスト云フコトニ重點ヲ置イテ、御指導ニナルモノデヤナイカトモ思ハレマスガ、煎ジ詰メマスレバ、矢張りサウ云フ風ナ不良ノ業者ヲ消滅サスト云フ風ナ工合ニ取扱フノデゴザイマスガ、マアソレハ非常ナ結構ナコトデアツテ、現在隨分不良ナモノモアルヤウ

ニ伺ツテ居ルノデアリマスガ、併シ此處デニ百萬圓ト申シマスト云フト、不良ト申シテハ甚ダ何デゴザイマスガ、其ノ弱者ハ之ニ參加スルコトハ出來ヌダラウト思ヒマシテ、心配スル譯デゴザイマス、ト同時ニ、第二條ノ免許ト云フ字ト照シ合セマスト云フト、サウ云フ是カラヤツテ行カウト云フモノガ出來ヌト云フ風ナコトニナリマス、トナカノ其處ニ誤解ト云フモノガ生ジマスルヤウニ思ヒマスノデ、是ハ十分當局ニ於テモ誤解ノナイヤウニ御努メニナツテ戴キタイト思フノデゴザイマス、ト同時ニ、此ノ間ノ御説明ヲ伺ヒマスレバ、二百萬圓以

上ノ株式會社ニスルニ付テモ、茲ニ十數軒アルト云フコトデ、サウ云フ在來ノモノハ皆二百萬圓位ノ身代ヲ持ツテ居ルト云フ風ニ仰セラレテ居ルノデアリマスガ、ドウモサウ云フ風ナコトニナリマスレバ、大キナモノヲ益、助ケルト云フコトニモナルシ、或ハサウ云フ中デモ非常ニ能ク調べテ見ナケレバ、ソレニ參加出來ヌト云フコトデ、或ハ一軒トカ二軒ト云フ風ニ結局移ツテシマフノデヤナイカ、サウシマス、御趣意ニ反スルヤウニモ考ヘマスガ、ソコ等ヲ十分御注意願ヒタイト斯ウ思フノデアリマス、

ソレカラ第八條ノ此ノ資本金總額ニ達スル迄ハ利益配當スル毎ニ、準備金トシテ其ノ利益ノ十分ノ一以上ヲ積立ツト云フコトヲ謳ツテゴザイマスガ、是ハ果シテ斯ウ云フコトヲナスツテ、事實上此ノ引受會社ガ收支償フモノデゴザイマスカドウカト云フコトヲ疑フモノデゴザイマス、併シ是トテモ今度ノ新商法ト申シマスカ、ソレニ關聯シテ御注意ヲ願ヘバ、或ハ行クノデヤナイカト思フ次第デゴザイマス、ソレカラ十二條、十三條ノ、第十二條ニ於キマシテハ「業務ニ關スル報告ヲ爲サシメ又ハ其ノ帳簿書類ヲ

提出セシムルコトヲ得、「得」ト云フ字ガアリ

マスガ、是ハ寧ロ「得」ノ字ヲ取ツテ戴イテモ  
宜クハナイカト私ハ思フノデアリマス、何  
故ナラバ、斯ウ云フ會社ガ出來マシタ時ニ、

主務省ガ長イ年月ノ中ニハナカ〜監督ガ  
十分ニ行カヌト云フコトガ今迄度々アルヤ  
ウニ思ヒマス、殊ニ取引所關係ニ於キマシ

テナカ〜此ノ監督ガ十分ニ行届カヌト云  
フ風ニモ伺ツテ居ルノデゴザイマスガ、是モ  
亦所謂新商法ノ規定ガ段々シツカリシテ參

リマスノデ、是モ一ツ十分御注意ヲ願ヒタ  
イト、斯ウ思ツテ居ル次第デゴザイマス、ソ

レカラ十七條、十八條ノ一此ノ罰金制度デ  
ゴザイマスガ、是ハ煎ジ詰メマスレバ、先

日モ話ガアリマシタ通り、銀行法ニモ改正  
ガアル位デゴザイマスカラ、此ノ際モウ少

シ千圓以下ヲ千圓以上ト云フ風ナコトニ値  
上ト云フヤウナコトニ、ソレデモ宜クハナ

イカト、斯ウ思フノデゴザイマス、何故ナ  
ラバ、免許ヲ受ケナイデヤル若シモ意思ガ

アルナラバ、五千圓位ノ罰金ハ呑込シテヤ  
ル手合モナイデハナイカト、斯ウ思フノデ

ゴザイマスガ、マア是トモ相當御注意ヲ  
願ヘバ行クノデヤナイカト云フ風ナコトヲ、

希望ト申シマスカ、意見ヲ申上ゲテ、私ハ  
本案ニ賛成スル次第デゴザイマス

○委員長(子爵三室戸敬光君) 沖野爵ニ伺

ヒマスガ、只今ノハ單ニ御希望ト云フ程度  
ニ承知シテ宜シウゴザイマスカ

○男爵沖野男君 ソレデ結構デアリマス

○委員長(子爵三室戸敬光君) 政府ニ於カ

レマシテモ何カ御發言ガゴザイマスカ

○政府委員(中村三之丞君) 只今ノ御希望

ニ對シテハ十分其ノ御趣旨ヲ體シマシテ、

遺憾ナキヲ期シタイノデゴザイマス、先般

來當局ヨリ申シマシタ如ク、此ノ法案ニ依ッ

テ所謂實體的監督ヲナシ、同時ニ只今委員

方ノ御所見ノ如ク起債市場ノ圓滑ナル發展

ヲ圖リタイ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマスカ

ラ、御協賛ヲ願ヒマシテ、實施セラレマス

上ニ於キマシテハ、直接其ノ任ニ當リマス

ル銀行局ニ於キマシテハ萬違算ナキヲ期シ

タイト考ヘル次第デゴザイマス

○野村徳七君 私ハ此ノ際證券引受業ニ付

テ實情ヲ能ク承知シテ居リマスル者ノ立場

カラ、少シ意見ヲ申上ゲタイ、何カ御參考

ニナルダラウト思ヒマス、前回ノ委員會ニ

於キマシテモ此ノ法案ハ少數ノ者ニ獨占權

ヲ與ヘテ、益、獨占的傾向ヲ助長スルヤウナ

モノデナイカト云フ御意見モアリマシタ、

尤ト考ヘラレルノデアリマス、ソコデ少シ

此ノ引受界、起債界ト申シマスカ、起債界

ト云フ方ガ一番宜イト思ヒマスノデ、狀況

ヲ少シ申上ゲテ御參考ニ供シタイト思ヒマ

ス、有價證券引受業ト云フノハ、現在ニ於

キマシテハ社債、公債ナドノ發行ニ際シマ

シテ、ソレヲ直接引受ケテ、サウシテ之ヲ

一般ニ廣ク分布致シマス斯ウ云フ仕事ト、

ソレカラ發行者カラ「シンジケート」若シク

ハ一二ノ銀行、信託會社ニ引受ケテ貫ヒマ

シタノヲ下受ケ致シマシテ、サウシテ之ヲ

配給機構ニ依ッテ廣ク證券ヲ全國ニ消化ス

ルト云フ二ツノ仕事ヲヤツテ居ルノデゴザ

イマス、處ガ大體是ハドウ云フ形式ニ依ッ

テ日本デ出來テ來タカト申シマス、今ヤッ

テ居リマス式ハ大抵「アメリカ」カラ採ッテ

參リマシタモノデ、所謂「アメリカ」ハ企業

ノ助長發達ト云フコトノ爲ニ、資金ノ需要

ヲ社債ニ依ル形式ガ段々發達シテ參リマシ

タ、併シナガラ共ノ社債ト云フモノハ引受

ケタ者ガデット持ッテ居ッテハ、結局大キナ

資金ノ需要ニ應ズル譯ニ參リマセヌノデ、

引受ケマシタ銀行若シクハ信託會社ノ如キ

ハ之ヲ專ラ多數ニ分割シテ投資家ヲ呼ブ、

所謂證券普及ト云フヤウナ機構ガ必要デア

起ッテ參ツクノデアリマス、ソレハ主トシテ

「セールズ・マン」ノ活動ニ依リマシテ、全

國ニ配給機構ヲ持チマシテ、一般ニ此ノ證

券知識ノ普及ト云フヤウナコトヲ行ヒマシ

テ、サウシテ證券投資ノ有利ナコトヲ貯蓄

心ノ獎勵ト相伴ウテ、全國ニ對シテ證券ヲ

配給シ普及スルト云フ仕事ヲ始メタノデア

リマス、ソレガ此ノ證券引受業ノ端緒トデ

モ申スベキモノデアリマス、ソレヲ日本デ

移シテヤツクノガ現在ヤツテ居リマス證券引

受業デアルト申上ゲテ宜イト存ジマス、處

ガ此ノ業者ガ初メテ日本デヤリマシタノハ

一軒デアリマシタガ、ソレガ二軒ニナリ、

三軒ニナルト云フ風ニナツテ參リマシテ、出

來テ參リマスト云フト、勢ヒ競争ガ起リマ

シテ、引受ヲ致シマシテ、又ソレヲ更ニ配

給致シマシテ賣リマスト云フ場合ニ、手數

料ノ競争ナドガ起リマス、又引受ケテ參リ

マス所ニモ勢ヒ競争ガ起リマシテ、結局其

ノ競争ト云フモノハ停止スル所ヲ知ラザル

コトニナルノハ、ドンナ仕事デモ同ジコト

デゴザイマス、起債界デドウ云フ惡イ影響

ヲ此ノ競争ノ結果今日迄來シテ居ルカト云

フト、大體社債ト云フモノハ擔保ヲ附ケテ

引受ケル、擔保附ニスルト云フトコトガ債權

者ヲ保護スル爲ニハ一番確實デアル、社債

券ニ對シテハ擔保ヲ附ケルト云フコトガ第一條件ナケレバナラス、斯ウ云フコトデア、處ガ競争ノ結果段々サウ云フ擔保付ト云フコトハナカク手續方面倒デア、信託法ニ依ラナケレバナラス、二三其ノ他ノ法律ノ制裁ナドモアリマスシ、ナカク此ノ擔保付ト云フコトヲ嫌フノデアリマスカラ、其ノ金額ト見合ヒマシテ、經營者ガ確實デアリ、一流ノ人物デアリ、間違ナシト認メマシタナラバ、サウ多額デナイ證券ナラバ、擔保ナシデ引受ケテヤルト云フ所ニ競争モ起リマスカラ、ソレハ必ズ賣レルニ決ツタ債券デ、残りガナイト云フコトデアレバ、ソコニ極端ナ手数料ノ競争モ起リマス云フヤウナコトガ、勢ヒ此ノ引受業ガ段々發達シテ參リマスニ伴フ弊害デアリマシテ、ソレガ今日迄大藏省ナリ日本銀行ノ眼ニモ能ク映ッテ來タコトト思フノデアリマス、サウシテソレダケナラバ、マダ宜イノデアリマスケレドモ、此ノ業者ガ盛ニ競争致シマス結果、大凡此ノ財界ニハ引受ケル當時ノ「レート」ト云フモノガ、公債其ノ他ノ關係カラ社債ト云フモノ「レート」又公債發行ノ上カラ社債ノ「レート」ト相關的關係ヲ持ッテ居リマス重大ナ金融市場ヲ左右スル公債ノ「レート」ト云フモノニ迄競争

ガ及ビマシテ、證券會社ガ無理ヲスル、結局ソコニ又銀行モ無理ヲスルシ、又信託會社ノ中ニハ時ニ引受業ニ競争シテ來ル者モアリマシテ、無理ヲスルト云フ所ニ行過ギト云フコトガアリマシテ、其ノ行過ギノ結果ガ或時期ニハ公債消化ヲモ停頓セシムルト云フヤウナコトモ起スト云フヤウナコトモアリマシテソレデハ財界ノ堅實ナル發達、財政ノ圓滑ナル運用ト云フコトニモ支障ガ生ズルカラシテ、此ノ業者ヲ取締ルト云フ私ハ御精神ニ出テ此ノ業法ガ生レタモノデアルト思フノデアリマス、此ノ業法ノ結果、今迄申シマシタヤウナ弊害ガ漸次除去サレマシテ、今後ハ相當監督權ガ此ノ業法ヲ通ジテ行ハレテ參リマスレバ、今申シマシタヤウナ弊害ガ取除カレテ來ルコトデアリマス、ソレカラ受ケル一般財界經濟界ノ利益ハ相當ナモノデアラウト、斯ウ云フコトデアアルノデアリマス、又之ニ從事シテ居リマス者モ不當ナ競争ガ防ガレ、サウ云フ行過ギモナクナリマシテ、又業者モ確實ナ者バカリデ、サウ云フ無用ナ横槍ヲ入レテ無謀ナ競争ヲスルト云フ者ガ漸次ナクナッテ參リマスレバ、今日迄ノ經營法ノヤウニ極端ナ殆ド利益ガ無イト云フ所迄競争ヲシテ、澤山ナ人件費ヲ掛ケ、全國ニ配給機構ヲ張ッテ居リマス證券

會社ハ可ナリ澤山支店、出張所ノ如キモノヲ持ッテ居リマシテ、今日ハ「セールス・マン」トシテハ大概大學卒業程度ノ人ガ財界經濟界ノ事情ニ最モ精通シタ新ラシイ知識ヲ始終注入サレテ、ソレ等ノ人ガ全國ニ行渡ッテ證券知識ノ普及ト證券投資ノ指導ト云フヤウナコトニ實際當ッテ居ルノデアリマス、眞面目ニ當ッテ居ルノデアリマス、恐ラク有價證券業全體何萬アリマセウガ、各、其ノ投機目的トスル者トカ、眞面目ナ投資ヲ誘導シテ居ル者モアリマセウケレドモ、恐ラク證券殊ニ公社債ノ配給機關ト云フ仕事ヲヤッテ居ル者程眞面目ニ證券普及ト云フ仕事ヲヤッテ居ル者ハ無イノデゴザイマス、無イト斷言シテ宜イト思フノデゴザイマス、サウ云フヤウナ情勢ノ下ニ現在此ノ業者ガヤッテ居ルノデアリマスガ、偶、此ノヤッテ居ル仕事ヲ極ク皮相的ニ見テ、競争的ニ會社ヲ起シテ居ル人達ガヤッテ見ルト云フト、存外ムヅカシイ仕事デ、ナカク「サウ引受ケテ證券ガ、矢張り完全ナ配給機構ヲ持ッテ居ルモノデナケレバ、ソレガ浸潤シナイ、大地ニ水ヲアケタヤウニ浸潤シナイ、唯甲ノモノヲ乙ニ動かスト云フヤウナ程度デ、到底此ノ仕事ハ出來ルモノデヤナイト云フコトモ段々分ッテ參リマシテ、今日ハ容易ニ利益計

算ト、費用ト色々ナ關係ヲ考慮シマス、サウ引受業ト云フモノハ實際起ッテ來ナイ情勢ニアルノデアリマス、併シ昨今新聞デモ御覽ニナリマシタヤウニ、只今資金調整法ノ運用ハ大藏省ニ御持チニナッテ居ルノデアリマスケレドモ、多分事務上ノ御關係ト思ヒマスガ、是ハ其ノ運用ヲ日本銀行ニ御一任ニナリマシテ、日本銀行カ資金統制法ニ付テ統制ノ衝ニ當ッテ居ラレマスガ、是ハナカナカ嚴格ナ方針ヲ御執リニナリマシテ、先程申上ゲマシタヤウニ、サウ多額デナイ三百萬圓カ五百萬圓程度ノ社債デモ、而モ此ノ會社ハ第一流ノ會社デアッテ、重役經營者ノ人格モ立派ナデアッテモ、ソレニハ擔保ヲセバナラヌト云フヤウナ風ニ、日本銀行ノ方デハ資金統制ノ側カラモ亦社債ノ一ツノ指導的思想ヲ御持チニナッテ居ルト存ジマスガ、サウ云フ方針カラモ嚴ニ取締ヲ行ッテ居ラレルト云フ状態デアリマシテ、チヨット世間カラ御覽ニナリマシテ知レテ居ラナイヤウノ事情ガ多々アルノデアリマシテ、私此ノ機會ニ聊カ其ノ實情ヲ申シマシテ、御參考ニ供シマス次第デアリマス

〔本案贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵三室戸敬光君) 別ニ御發議モナケレバ、採決ヲ致シタイト思ヒマガ、

御異議アリマセヌデゴザイマセウカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵三室戸敬光君) 本案全部ヲ  
議題ニ供シマシテ、全會一致ト云フコトニ  
御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵三室戸敬光君) ソレデハ本  
案ハ委員會ニ於キマシテハ可決ヲ致シマシ  
タ、是デ散會ヲ致シマス

午前十一時二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵三室戸敬光君

副委員長 男爵高崎 弓彦君

委員

侯爵淺野 長之君

子爵梅園 篤彦君

男爵沖 貞男君

久保市三郎君

油井 徳藏君

宇野 勇作君

野村 徳七君

政府委員

大藏參與官 中村三之丞君

大藏省銀行局長 入間野武雄君